

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

B区分 (令和2年度採択 延長)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他 ()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいはひとみざ		
制作団体名	有限会社ひとみ座		
代表者職・氏名	代表取締役 倉正人		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31 (東急東横線「元住吉」駅)		
電話番号	044-777-2225	FAX番号	044-766-0249
ふりがな	にんぎょうげきだんひとみざ		
公演団体名	人形劇団ひとみ座		
代表者職・氏名	代表 中村孝男		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31 (東急東横線「元住吉」駅)		
制作団体 設立年月	1964年 4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 倉正人 取締役 中村孝男・田坂晴男 甲斐勝行・石川哲次 監査 税理士法人昴星 岩田克夫	(1) 団体構成員 計56名 劇団員44名、団友8名、嘱託4名 (2) 加入条件 ひとみ座研究所を卒業後入団	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	取締役 石川哲次
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	経理 宇野かよ

制作団体沿革	昭和23年「劇団ひとみ座」を鎌倉市で創立、翌年「人形劇団ひとみ座」に名称変更をする。小学校の芸術鑑賞教室、幼稚園・保育園での鑑賞会、全国ホールでのツアーなど、人形劇の専門劇団としての活動を展開する。 川崎市に本拠地を移し、昭和39年に「有限会社ひとみ座」を設立。同年、NHK テレビ人形劇「ひょっこりひょうたん島」が放映開始、人形美術・製作・操演の全てを担当する。昭和58年に神奈川県文化賞と川崎市文化賞を受賞。他これまで作品での受賞多数。かわさき市民プラザ人形劇まつり、いいだ人形劇カーニバルの立ち上げに参加、地域を人形劇で結びつける活動をプロデュース、分野全体の発展に寄与する活動を展開する。平成17年より日生劇場プロデュースの人形劇ミュージカルに、出演・人形美術及び製作で参加。これまで12作品の公演に関わり、令和元年度は「ムーミン谷の夏まつり」に参加、日生劇場を含む全国9カ所での公演を実施予定。 平成18年・21年・24年に、創立60周年記念シェイクスピア三部作を公演(「リア王」新国立劇場、「マクベス」俳優座劇場、「テンペスト」全労済ホール／スペース・ゼロ)。平成28年度より4年間連続で文化庁舞台芸術創造活動活性化事業の年間活動支援団体として採択継続中。平成30年度には、「まっぷたつの子爵」県民共済みらいホール公演、「どろろ」川崎市アートセンター公演を創立70周年記念事業として実施した。		
学校等における公演実績	首都圏を中心に全国の小学校での巡回公演を、創立以来当劇団の中心的事業として、多彩な作品を制作・公演。例年200～300公演を実施。 平成30年度は、学校独自の事業に加えて、各市町村の教育委員会等主催による事業、僻地支援を趣旨とする日本児童青少年演劇協会主催による事業にも参加。 ～平成30年度学校公演実績(本事業を除く)～ 「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」 61校89公演 「ズッコケ時間漂流記」 38校59公演 「岸辺のヤービ」 37校41公演 「美女と野獣」 22校35公演		
特別支援学校における公演実績	徒歩圏内に川崎市立中原養護学校があり、公演実績はもちろん、劇団訪問(町探検・職場体験等)やワークショップなどを含めた日常的な交流を実施。 他、川崎市立田島養護学校、川崎市立川崎養護学校など、主に神奈川県内の養護学校で多数の実績あり。障害の度合いに応じたプログラムを企画して対応する。 令和元年度文化芸術による子供育成総合事業では、栃木県立足利中央特別支援学校で公演を予定。対面を含む準備や打ち合わせを行っている。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVD を提出します。
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名 人形劇団ひとみ座】

対 象	小学生(<u>低学年 ・ 中学年 ・ 高学年</u>) ・ 中 学 生		
企画名	大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」		
本公演演目	大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」		
原作／作曲	原案／十返舎一九「東海道中膝栗毛」		
脚 本	脚本／佃典彦(劇団 B 級遊撃隊) 演出／山本コーゾー		
演出／振付	人形美術／伊東亮 舞台美術／田坂晴男・本川東洋子		
	音楽／やなせけいこ 音響／田辺正晴 照明／石川哲次 公演時間(100 分)		
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる 許諾の有無
演 目 概 要	本作は「弥次さん喜多さん」で知られる、江戸時代に書かれた『東海道中膝栗毛』の人形劇作品です。映画や舞台など様々なジャンルで知られる二人の冒険譚を、小学生対象の人形劇作品として、平成26年度に文化庁トップレベルの舞台芸術創造事業採択で制作、平成27年度より全国の小学校や公立文化施設にて巡演、ここまで累計500ステージの上演を重ねてきました。 ～二人の楽しい珍道中を通して 生きることの素晴らしさを伝える～ 原案の『東海道中膝栗毛』は、旅行を題材にした大江戸コメディです。当時は、街道や宿場町が整備され、庶民の間にも徒歩旅行が広まり始めた時代でした。本作のテーマであり、今も旅行の定番として生き続ける「お伊勢参り」がブームとなったことは、戦国時代の後に訪れた天下泰平の世で、庶民が「明日生きていられるだろうか」から「明日をどうやって豊かに生きよう」と考えられるようになった証でもありました。 そんな世の中だからこそ、弥次さんと喜多さんは幾度となく大失態を演じながらも、気にせず元気に旅を続けることが出来ます。今日の失敗より明日の成功を素直に思い描ける主人公達の物語を通して、たった一度の失敗に折れてしまいがちな現代の子供達に、生きることの素晴らしさを伝えていきます。 ～庶民の文化『伝統芸能』に触れながら 自分の住む地域の魅力を再発見する～ 歌舞伎・講談・お囃子など、日本には全国各地に様々な形で伝統芸能が生き続けています。今の児童にとって堅苦しいと捉えられがちなそれらも、当時を生きた人々にとっては身近な文化でした。そしてそれらの芸能は、たくさんの人が集まる場所で行われる、地域の人と人をつなぐコミュニケーションの潤滑油のような役割を果たしていました。だからこそ各地域の特色が伝統芸能には強く表れていて、一人の世界で遊びが完結してしまうスマホやゲームにはない魅力が溢れています。 本作には、様々な伝統芸能のパロディーが登場します。弥次さん喜多さんの愉快的旅路を彩るたくさんの魅力的な芸能を通して、児童がこの国の文化芸術の礎である伝統芸能を気軽に楽しむと同時に、自分の住んでいる地域の芸能や歴史を再発見する機会を作り出していきます。		
	 		

～あらすじ～

江戸に住む弥次さんと喜多さんは、まんじゅうの大食い大会で起こした大失敗で、江戸を逃げるように離れることになる。それでも逃げるだけではつまらないと、当時大流行していたお伊勢参りをするために、西へ向かって徒歩旅行に出る。



小田原で五右衛門風呂の入り方がわからず下駄を履いたまま入浴して浴槽を壊したり、大井川を自力で渡ろうとして大迷惑をかけたり、台詞も覚えず歌舞伎の興行に出演したりと、二人の行く先々では必ず大騒動が起こるが、二人はその度にピンチを切り抜けていく。



そんな中、夢敗れて故郷に帰ろうとする力士や、全国を行脚する旅一座、二人を執拗に追い回す役人など、二人には旅で出会った仲間が出来る。仲間達の手を借りながら、やがて辿り着いた伊勢神宮では、全員で旅の成功を祝う。



演目選択理由

本作は、平成30年度人形劇団ひとみ座の小学校公演数最多作品で、初演以来大変高い評価を得てきました。

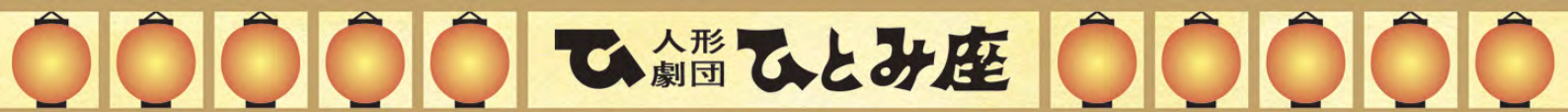
その理由の一つは、「生きることの素晴らしさ」と同時に、「誰もが豊かに生きることの出来る社会と価値観」が強調された本作の内容です。弥次さん喜多さんがどんなに失敗しても周囲から許容される、そんなゆったりとした価値観が本作の背景として表現されています。これから益々多様な価値観が交錯する時代を生きる児童にとって、あらゆる人や生き方を受容する『社会包摂』の理念は、今非常に重要なテーマの一つです。

そしてもう一つの理由は、「自分の住む地域の魅力を再発見する楽しさ」です。物語としては、日本橋(東京)から伊勢(三重)までの主人公達の旅路を演じますが、その途中で【ご当地シーン(弥次さん喜多さんが何故か実施校地域にやってくる場面)】が挿入されています。

	ワークショップでは、人形劇の人形を遣う、観客に自分の意思が伝わるように表現するなどの、人形劇の基礎的体験のほかに、「自分の住む地域の特長について考える」作業がポイントとなってきます。 日本の大きな課題の一つに『地方創生』が挙げられますが、「地元を愛する児童を育む」ことは各地域の発展に必要な要素です。何も知らなければ地元に着も湧きません。本作を通して、地域の歴史や文化に楽しみながら触れる機会を作り出していきます。 地元への愛情を基盤としながら、同時に他地域の多様な文化を楽しむことをテーマとして扱っている本作は、本事業に非常に相応しい作品だと考えています。		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	～共演する内容～ 実施校地域を舞台とする【ご当地シーン】が児童の共演する場面です。 児童は「ご当地に住む江戸時代の子供」の役を人形を遣って演じます。ご当地の特色(芸能・お祭り・歴史・名産・自然など)について、児童は弥次さん喜多さんに、次々とクイズ形式で尋ねていきます。他所から来た弥次さんと喜多さんは答えを間違えてしまいますので、児童がその解説をしていきます。 このクイズや答えは、ワークショップを通して各校毎に完全にオリジナルの内容を作っていきます。児童と先生と講師で「地域の特長」について知恵を出し合い、そこから生まれた台本を使って共演場面を作り上げていきます。 ～その他の体験する内容～ 各実施校と時間や人数などの調整が必要ですが、終演後の児童から出演者への質問コーナー、舞台の裏側を覗くバックステージツアーなどを積極的に実施しています。また、実施校の希望に応じて、共演参加をする児童との給食交流も実施することで、生の舞台芸術ならではの「人と人との出会い」を大事にしていきます。		
出演者	来住野正雄・齋藤俊輔・小林加弥子・勝又茂紀・西田由美子・日比英理子・田川陽香 蓬田雅代・女部田麻緒		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 9 名 <u>スタッフ： 1 名</u> 合 計： 10 名	機材等 運搬方法	積載量 4 t 車 長 8 m 台 数 1 台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(3時間程度) <table border="1"> <tr> <th>到着</th><th>仕込み ／リハーサル</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr> <tr> <td>8:30</td><td>8:30～11:30(仕込) 11:30～12:10(リハ)</td><td>13:00～14:40</td><td>10 分</td><td>15:00～17:00</td><td>17:00</td></tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み ／リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	8:30	8:30～11:30(仕込) 11:30～12:10(リハ)	13:00～14:40	10 分	15:00～17:00	17:00
到着	仕込み ／リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
8:30	8:30～11:30(仕込) 11:30～12:10(リハ)	13:00～14:40	10 分	15:00～17:00	17:00													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	100名まで。																
	本公演	500名まで。500名を超える場合は、2公演実施可。																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	○事前に製作する人形の材料・見本・作り方をお渡ししますので、ワークショップ当日までに1人につき1体の人形を製作していただきます。作るキャラクターは「実施校地域に住む江戸時代の子供」です。 人形は、製作方法や操作方法は容易ですが、人形劇特有のユニークな動きを最も出しやすい平面人形です。 ○ワークショップ当日の実施内容 ①生徒が遣う人形の操作方法などを指導します。 ②次に講師が児童や先生からアイデアを募りながら、地元の特徴を挙げていきます。次にその中から面白いものを選び、他所から旅をして来る弥次さんと喜多さんへのクイズを考えて、その答えと解説を作ります。 ③セリフを児童に割り振り、共演場面の練習をします。																	
ワークショップ 実施形態の意図	○ 住んでいる地域の魅力を再発見する 行動範囲の狭い児童は、地元と他地域を比較する機会に恵まれないため、地元の歴史や文化を敢えて魅力として感じる機会は少ないものです。しかし、お祭りなどの地域の伝統行事・特産品・自然風土などに、児童は意識せずとも触れながら生活をしています。本事業の実施により、児童が地元の魅力を再発見する契機を作り出していきます。 ○ 人形美術デザインの体験 児童が人形を作る意義は、工作面の体験のみならず、「どうすれば江戸時代の子供に見えるだろうか」を考える作業にあります。これは、人形劇にとって非常に重要な美術デザインの体験です。 ○ 舞台上でコミュニケーションを作り出す体験 人形操作は、「もの」を使った表現です。主観的に演じるだけではなく、客観的な視点から「観客からどう見えているのか」を自然と意識することになります。受け手(観客)のことを考えながら発信する体験は、児童のコミュニケーションの基礎力を高めていきます。自分たちが考えた地元の魅力を、他の生徒や先生に対して、生き生きとわかりやすく表現するためのコミュニケーションを体験します。																	

特別支援学校での実施における工夫点	人形操作や製作が難しい場合を考慮して、より簡単に人形を動かせるための工夫をします。また、児童の近くで出演者が楽器を生演奏するなど、共演参加時の方法や導入に工夫をしていきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。



大江戸
人形喜劇

弥次さん喜多さん トンちんカン珍道中



大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」の舞台



お囃子

人形劇舞台

講談師

◆二人の愉快な旅路を彩る 庶民の娯楽「伝統芸能」の数々

歌舞伎に講談、太鼓に三味線、果ては皿回しまで、そしてもちろん人形芝居！
 伝統芸能には人生を豊かにするための先人の知恵と力が詰まっています。
 「堅苦しい」ものではなく「お気軽に」根付いてこそ意味のある芸能。
 その場にいる人達を結び付けるコミュニケーションの潤滑油です。
 この国の各地域にあるたくさんの魅力に触れながら、
 みんなでわいわい楽しみましょう。



◆ゆっくりのんびり道中記 それぞれのものがメッセージ

失敗しても何のその。マイペースに旅を続ける弥次さん喜多さん。
 生きているだけで、私たちはかくも人生を豊かにできるのだと、
 多くの子どもたちに感じてほしいと思っています。



相撲取り「鬼の山」とまんじゅうの大食い大会に負けた「弥次さん喜多さん」。
 これをきっかけに、役人の「栗山様」に追われてお伊勢参りに向かうことに...

大食い天下一決定戦



日本橋



あらすじ

まんじゅうの大食い大会で起こした
 大失敗から、江戸を追われてしまった
 弥次さんと喜多さんは、逃げるだけではつまらないと今流行りの
 お伊勢参りに向かう。二人の行く先々、必ず起こるとんでもない
 大騒動。さらに二人を執拗に追い回す役人の桃右衛門、傷心の
 相撲取り鬼の山なども加わり、
 伊勢までの大珍道中がはじまる—
 歌舞伎に講談、太鼓に三味線、
 果ては皿回しに人形芝居。
 昔の楽しいことが満載で贈る、
 二人のトンちゃんカンな珍道中！

大井川

『箱根八里は馬でも越すが、
 越すに越されぬ大井川』を
 弥次喜多は自力で渡る！？



桑名



伊勢



百二十二連敗の鬼の山、駿河の実家でおっ母と
 感動の再会と思いきや...

駿河



やっと伊勢に到着！

色々あって感極まる一同。みんなそろって伊勢音頭！
 伊勢音頭：荷物にならない伊勢土産と呼ばれ、伊勢から各地に作り替えられ普及しています。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D52	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	D	区分	B区分
公演団体名	人形劇団ひとみ座				制作団体名	有限会社 ひとみ座			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	不要	条件					—
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *		2tトラック	1台	バン	2台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							/
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		2tトラック1台					不可
	搬入車両の横づけの要否 *		要					可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *		問わない					—
	搬入経路の最低条件		特になし。					—
	理由							/
	設置階の制限 *		問わない					—
	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m		高さ	1.8m		可
WSIについて	参加可能人数	100名まで						可
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				可	
	所要時間の目安 単位:分	学校の授業時間における2時限分						不可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					/
	鑑賞可能人数		500名まで(500名を超える場合は2回公演可)					可
	舞台設置場所 *		フロア					不可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	10m	奥行	9m	高さ	4m	不可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要			—
		舞台袖スペースの条件 *						—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	暗幕がない場合、設置することにより公演可。設置方法は要相談。			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *		不要			—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量		50A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

